

GALANTE

ガ ラ ン テ

大人の腕時計は もっとワガママになって いいんじゃない

GALANTE (ガランテ) のコンセプトは

“More Than EGOIST”

凝り固まった高級腕時計へのイメージをぶち壊して

もっと自由に、もっとワガママな

腕時計を選んでいいことを

ガランテの腕時計は教えてくれる

GALANTE Compact feat. CHRISTIAN DADA SBLM011 “Q”

ガランテ初のユニセックスサイズ。今までのガランテのイメージをそのままダウンサイジングしたガランテ コンパクトのファーストモデルはケース径は40.2mm。第一弾は新進気鋭のハイファッションブランドのクリスチャンダダとのコラボレーションが実現。エナメルとビーズのホワイトローズでデコったレザーストラップのほか2本のオリジナルストラップが付属。SS。自動巻。86万4000円

SBLM008

SBLM008

カジノのVIPルームに仕つらえた特別な客のための特別なルーレット……そんなイメージでデザインされている。18金ピンクゴールドのベゼルに加えて、支柱のトップとGMTインダイヤルのインデックス合わせて0.53ctのダイヤモンドが、VIPたちだけに許されたハイレートな勝負を象徴する。ケース径は45mm。世界限定50本。SS×K18PG。自動巻。151万2000円

ガランテの頭文字“G”のオープンハートがブラックダイヤルにくっきり。「東京の今」が隠しテーマで、秒針はスカイツリーがモチーフ。2種類のコマをつないだ9連のブレスレットはていねいなポリッシュで肌あたりもいい。ケースサイズは45.5mm。生産終了モデルでハナジマでも「最後の1本」。SS。自動巻。56万1600円



SBLA027

二層構造のダイヤルは濃厚なポートワインをイメージしたボルドー色。1時から5時まではドットで6時から12時まではアラビックというインデックスのデザインも楽しい。ホルダーのストラップはダチョウの足の部分の革だけを使った貴重なオーストレック。GMT機能付。ケース径は44.4mm。SS。自動巻スプリングドライブ。89万6400円



SBLA105

キズを意味する「ダズル」のニックネームを持つモデル。7時方向から2時方向に剣での攻撃を腕時計で受けたような大きなキズを表現。ダイヤルはマザーオブパールで、キズの部分には細かなスリットのギョーシェを施している。2時、4時、10時方向の支柱と12時のインデックスは透明度の高いダイヤモンド。ケース径44.9mm。世界限定50本。SS。自動巻スプリングドライブ。108万円



SBLA073

ローマンインデックスのバイカラーのダイヤルは、内内に24時間表示のGMTダイヤルを備える。ストラップはシャイニンググレイのクロコダイルレザー。全体的にクラシカルな雰囲気ですーツでもカジュアルでも……フォーマルなシーンでも活躍しよう。ムーブメントは「唯一無二」のスプリングドライブ。ケース径は43mm。SS。自動巻スプリングドライブ。58万3200円



SBLA025

支柱と似た雰囲気のプロシュボタンのレットロモダンなクロノグラフ。ダイヤル外周を指すアロー針はGMT用の24時間針。ムーブメントはスプリングドライブで、72時間のロングパワーリザーブ。ストラップはシャイニングブラックのクロコダイルレザー。ケース径44.4mm。SS。自動巻スプリングドライブ。89万6400円



ガランテが新モデルの「Q」を発表した。「(風) 変わり者」を意味するQUERと「腕時計のバンドデザインへ疑問を投げかける」という意味のQUESTIONSのそれぞれの頭文字を採って、そう名づけられた。「Q」の最大のポイントはケースサイズだ。従来のガランテのメンズラインは、45ミリ前後のラージサイズだった。しかし「Q」はひと回り小さな40ミリ前後。ふつうの腕時計ならそれでも大きめと言われてしまうかもしれないが、ガランテ的には40ミリはユニセックスサイズなのだ。もともとラインナップにあったレディースモデルと区別する意味もあって「Q」には「ガランテ コンパクト」という別名も用意された。そのガランテ コンパクトの第1弾は、GMT機能を備えるセイコー製自動巻ムーブメント(Cal. 8L36)を搭載する。10気圧防水で日常使いに支障もない。腕時計として良品であることは間違いないのだが、それ以上に魅力的なのがクリスチャンダダとのコラボモデル。クリスチャンダダは服を単なる着るものではなく、着る人のアイデンティティを示すものと考え、それをベースにデザインするブランド。つまりガランテのコンセプトとピッタリ、というわけだ。新機軸のガランテ コンパクトの第1弾には、最高のコラボレーションとなったようだ。

ガランテのラインナップに
初めてのユニセックスサイズ
ガランテ コンパクトが登場

購入すると、ガランテ コンパクト専用のストラップがローズ仕様のほかにもうふたつついてくる。右のブラックレザーに赤い糸で刺繍を施したタイプがタイプ2ストラップ。刺繍糸のエンドをわざとルーズに処理しているのはクリスチャンダダの感性。左のタイプ3ストラップはバーガンディカラーの上質なクロコダイルレザー。



SBLM006

「勝者 (Victor ラテン語)」というニックネームを持つ世界限定100本のレアモデル。18金イエローゴールドベゼルとシンクロさせてブラウンダイヤルにもゴールドカラーを効果的に使い、レザーストラップもゴールドカラー。ダイヤル内円のGMTインダイヤルのインデックスと4本の支柱のトップに合わせて0.53ctのダイヤモンドをセット。ケース径45mm。ホルダーのクロコダイルストラップ付。SS×K18YG。自動巻。151万2000円



①



②



③

① このSBLA091はガランテ10周年のメモリアルモデル。「ブラックパンサー」というニックネームがある限定品。「あいかわらずキレイなポリッシュ仕上げとDLC加工のベゼルの対比が気に入っています」と小神野さん。

② 「ライムライト」というニックネームのあるSBLA099。古きよき時代のパリのグランドキャバレーをイメージしたモデルだといわれているが……「ピーカンの昼間ではなく、賑やかな夜の街の光と影みたいなものが感じられて、気に入っている1本です」

③ 「ガランテの専用プレスレットは仕上げの美しさもさることながら、肌あたりもとても気持ちいいんです。だからもっとプレスタイプが増えたらいいの……というのがガランテのいちファンからのリクエストです」 そんな小神野さんの初めてのガランテが、このSBLA053だった。



小神野 徹さん

都内在住のガランテ コレクターの小神野さん。しかし腕時計好きになっただけの1本は、就職祝いにももらった父の使っていたIWCだったとか。「国産ブランドに惹かれたのは30歳を過ぎてからですね。中でもガランテとの出会いは衝撃でした」と小神野さんは笑う。

ガランテコレクターに聞いてみた

ガランテは1本1本に秘めたストーリーがあるから つい「もう1本」欲しくなってしまう

「きっかけは友人が買ったガランテを見せてもらったことでしたね」

小神野さんはその1本のガランテの独特で複雑なケースやプレスレットのデザインと、それにも関わらず細部まで均一にポリッシュ仕上げが施されたいい仕事ぶりに驚かされたという。

「腕時計は10代のころからずっと好きで、けっこうムリして買ったりしてきましたけれど……ポリッシュ仕上げの美しさはガランテがいちばんだと思いましたね」

そして小神野さんは2009年にガランテユーザーになる。

「デザインはもちろんですが、着け心地もよくて、重量感もほどよい。すっかり気に入ってしまって、ほかのガランテも見えて見たくまりました」

そのころはガランテの取扱店が今よりも少なく、見て歩くにも苦労したという。

「ハナジマを知ったのは、だから最初のガランテを購入してからしばらく経ってからでしたね」

今はガランテといえば、小神野さんはまずハナジマに問い合わせをする。

「正規店の中でも一番、在庫が揃っているし、新着の情報や新製品の入荷も早い。限定品もまず間違いなく入荷するので……でも何よりうれしいのはスタッフとの距離感……ですかね。話しやすいけれど売る気まんまんのプレッシャーは感じないから、ゆっくりと選べます」

そんな小神野さんは新発売の「Q」を間近で見て「また新展開ですか」と笑う。

「ガランテはシリーズやモデルでそれぞれにストーリーがあるところも好きなんですよね」

たくさんの腕時計とつきあってきた小神野さんにとって、ガランテ コンパクトという新機軸もまた魅力的に映ったようだ。



「一点モノと言える天然のシェルダイヤルの色味も気に入っています」と小神野さん。このSBLA067のバラのモチーフは通常は深い緑に感じるが、光の角度で赤い霧が覆うように変化する



ハデというよりは華やかでしょう。ガランテは従来の45mmクラスでも工業デザインとしても大まじめに設計されているから着け心地は悪くないのですが、これまで「ちょっと大きすぎるかな」という人は確かにいましたね。そういう意味では新発売のガランテ コンパクトは見ただ目にもジャストサイズです。個人的にも1本手に入れてシーンや服に合わせてストラップを使い分けて楽しみたいと思っています。

ガランテは一流品の常識をくつがえした腕時計です

ハナジマ 花島素人さん

ガランテの腕時計を初めて見たときは、正直なところ「エッ！」って感じでした。それは私が抱いていた「いい腕時計」とはあまりにかけ離れていたからです。でも改めて「いい腕時計って何なの？」と自分に問いかけてみたら、それって古い常識というか固定観念でしかなかったんですよ。ガランテの前にガランテがなかっただけで、ガランテから始まる「いい腕時計」もあっていい……というかむしろ何にも似てない一流品として、ガランテはすごく「いい腕時計」なんです。だから国内でも限られた正規店として、ガランテを積極的に取扱っています。

GALANTE Fair

ガランテ コンパクトお披露目を兼ねた 特典付きフェアを開催中 2019年1月31日(木) まで

<特典その1>

フェア期間中にハナジマでガランテの各モデル購入すると

・現金一括払いの場合

購入金額の15%相当のハナジマ商品券(無期限)をプレゼント。

・分割払いの場合

分割100回まで分割金利および手数料をハナジマが負担。

<特典その2>

素材やステッチを自由に選べる

セイコー別注時計バンドを通常の半額で特別注文可能。



SHOP info HANAJIMA

〒132-0025 東京都江戸川区松江7-11-3
Tel: 03-3652-8740
http://www.hanaajima.com
営業時間/10:00 ~ 19:30
定休日/火曜日

「もちろん搭載するムーブメントは、セイコーの中でも上位機種用のスプリングドライブや機械式です。プレミアムブランド専用のラインで組み立てられていますから、腕時計としての実力や精度は実に魅力的です」

花島社長は「おもしろいだけじゃなく、当社では扱いません」と言うように、ガランテの腕時計としての完成度もしっかり確認している。

だから「腕時計なんて……」と、ありきたりの腕時計にこのごろ少し飽きてしまった人にこそ、ガランテを間近で見せてほしい。

「セイコー第3のプレミアムは腕時計を知り尽くした大人を魅了するイケてるライン」

ガランテはセイコーのラインナップの中でも、プレミアムブランドというポジション。しかしガランテは、今までの高級腕時計の常識から、あまりにもはみ出している。まず、古代ローマの神殿を連想させる4本の柱に守られる厚いケース。風防からダイヤルまでの彫りの深いフェイス、そしてモデルやタイプによって採用する大胆なダイヤルなどなど。「ガランテはひとことで表現すれば、他のどんな高級腕時計にもない艶っぽさを持っている腕時計ですね」

そう話すのは、花島社長。ハナジマは、国内に60店舗ほどしかないガランテの正規取扱ショップのひとつである。